大人の風しん 予防接種費用一部助成

現在、全国的に風しんが流行しています。患者のほとんどが予防接種を受けていない可能性が高い「20~40歳代男性」です。

特に、妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんが風疹ウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障、発達の遅れ等の障害をもって産まれる可能性があります。

そこで、町では、妊婦の感染を予防するために、風しん予防接種の費用助成を行っています。希望する人は、以下を確認し、保健センターまで申請にいらしてください。

※助成の該当にならない人でも、まわりに妊婦さんがいる場合は、予防接種をご検討ください。

種類	風しんワクチン	麻しん・風しん混合 (MR)
助成額	3,000円	5,000円
	①妊娠を予定または希望している女性およびその夫 ②現在妊娠をしている女性の夫	
対 象 者	※以下の人は「対象外」です。・明らかに風しんにかかった人(十分な抗体がある人)※抗体検査は不要です。・風しん(混合ワクチンを含む)の予防接種を2回以上受けた人・妊娠中の人または妊娠の可能性のある人	
助成期間	平成25年4月1日~平成26年3月31日	
回 数	10	
接種場所	指定医療機関 *申請時にお知らせします。	
方 法	 ○接種を希望する人 (1)保健センターに、身分証明書(運転免許証等)、印鑑(朱肉をつけるもの)を持参し申請する。 *予診票を渡します。 (2)医療機関に予約し、予診票(予め記入)、自己負担金(医療機関により異なります)、健康保険証を持参し、受診する。 (3)ワクチンを接種する。 	
注意事項	○接種後、2か月は避妊が必要です。また、妊婦は予防接種を受けられません。 ○平成25年3月31日以前に接種した場合は、助成の対象にはなりません。 ○医療機関により接種金額(自己負担額)が異なります。 ○麻しんワクチンを2回受けたことがない人は、MRワクチンをお勧めします。	

問合せ 下仁田町保健センター ☎82-5490

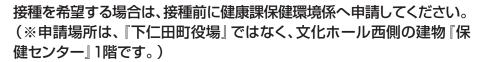
「高齢者肺炎球菌ワクチン」の 予防接種費用を助成

「満65歳以上」から接種できます。

町では、高齢者の肺炎球菌による肺炎の発病及び病気の重症化を防 止するなど、高齢者の健康保持を目的に、接種を希望する人に対して、費 用の一部を助成します。

また、今年度から対象者を「満70歳以上」から「満65歳以上」へ引き下 げ、高齢者の健康保持拡充を図ります。

この予防接種は、希望者のみが接種する「任意接種」です。接種者ご本 人が接種の効果や副反応のことなどを十分理解し、接種にあたっては、か かりつけの医師(接種を希望する医師)に相談してください。







ワクチン の種類	高齢者肺炎球菌ワクチン	
【対象者】	◆町内に住所を有し、接種日において 満65歳以上の人 ◆過去5年以内に肺炎球菌ワクチンを接種したことがなく、町の助成を受けた ことのない人	
【接種費用】 (自己負担金)	3,500円 ◆接種協力医療機関の接種費用7,000円の半額を助成します。 ◆生活保護受給者は全額助成になりますので、お申し出ください。	
【接種回数】	1回(助成するのは、生涯1回限りです。)	
【申請·接種方法】	(1)健康課保健環境係(保健センター内)へ申請し、予診票を受け取る。 持ち物: 身分証明書(健康保険証、運転免許証など)、印章(朱肉をつけるもの) ※申請は代理人でも可能です。 (2)接種者が各自で接種協力医療機関に予約をする。 ※ 接種協力医療機関は、申請の際にご案内します 。 (3)予診票を持って、指定医療機関で接種を受ける。 (4)接種後、費用の半額(3,500円)を接種協力医療機関へ支払う。	

《肺炎について》 肺炎とは、肺に炎症をおこす病気です。38度以上の熱が続くことがあり、咳が激し い、膿のようなタンが出る、すぐ息が切れる・息苦しくて眠れない、咳き込むと胸に痛みを感じるなどの症状が あります。高齢者は、これらの症状が出にくいこともあります。肺炎はここ10数年、死亡原因の第4位でしたが、 平成23年では、第3位となりました。また、65歳以上の高齢者の死亡率が9割以上を占めています。高齢者にと っては死亡に至る場合が多く、怖い病気です。

- ◎注意事項 ※接種協力医療機関以外で接種した場合は助成対象になりません。 ※この予防接種ですべての肺炎が予防できるわけではありません。
- ■問い合わせ・申請先 健康課保健環境係(保健センター内) ☎82-5490